

SKIN

肌理（キメ）を表現したベンチ



「肌理（キメ）」とは、皮膚の表面に見られる細かい三角形の構造のことです。

肌理は身体や心を反映すると言われ、日々の暮らしの影響を受け、
大きさや状態が変化しています。

この肌理の大きさや状態は光の反射や散乱に影響を与えるため、
肌の質感や見た目も大きく異なってきます。

これらの知見は、長年の化粧品研究により明らかにされてきました。
この「肌理」という言葉は、他の言語に訳すことが難しく、
日本独自の美意識を表す重要な概念となっています。

このベンチは、肌理をヒントにデザインされています。
密度の高い三角形の構造は肌理の細かい状態を表現し、
一方で密度の低い三角形の構造は肌理の粗い状態を示しています。

肌理の状態によって、肌の質感や見た目が異なることを、
細かな三角形と粗い三角形を用いることで表現しました。

肌理をテーマとしたこのベンチに実際に座ったり、
離れて眺めたりしながら、自分の人生を共に歩んできた肌の変化に、
思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

「肌理の粗い肌」

三角形の密度が低い



「肌理の細かい肌」

三角形の密度が高い

